



福島大学・郡山市連携事業「農学実践型教育プログラム」  
福島大学食農学類の学生が GI 認定産品、  
「阿久津曲がりねぎ」の収穫体験をします。



ターゲット 2.4

2023年12月12日

郡山市農林部

農業政策課

課長 佐久間 守隆

TEL：924-2208

SDGs ターゲット 2.4 「災害に対する適応能力を向上させ、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する」

福島大学食農学類と郡山市の連携事業の一環として郡山市の食と農に関する課題に一年を通して取り組む「農学実践型教育プログラム」。

今回、阿久津曲がりねぎ保存会長である橋本昌幸氏のご協力のもと、本市で唯一のGI(地理的表示)産品である「阿久津曲がりねぎ」についてのワークショップを行います。

- 1 日 時 12月15日(金) 13:10～
- 2 場 所 東部地域公民館(郡山市阿久津町久保 24-1)  
橋本昌幸氏の圃場
- 3 内 容 13:10 頃 東部地域公民館へ集合  
阿久津曲がりねぎの圃場へ移動  
圃場の見学と収穫体験・試食等  
14:10 頃 東部地域公民館へ移動  
橋本昌幸氏による阿久津曲がりねぎに関する講演
- 4 参加者 橋本昌幸氏、福島大学食農学類学生及び教員 25 名程度、市農業政策課職員



橋本昌幸会長

#### 福島大学食農学類 農学実践型教育プログラム

学生と教員をメンバーとして地域の食と農に関する課題に取り組むプログラムで、県内7自治体で実施されています。

#### 福島大学と郡山市における農業に関する連携

平成 25(2013)年に福島大学経済経営学類・大学院経済学研究科と連携協定を締結。その後平成 31(2019)年4月1日開設の福島大学食農学類と連携協力に関する覚書を締結し、公開授業の開催、農学実践型教育プログラムの実施など、農業や食品産業等の発展及び振興に向けた取組みをしています。



#### 阿久津曲がりねぎとGI(地理的表示)保護制度

「阿久津曲がりねぎ」は「やとい」という作業を行うことで曲がった形になり、特有の柔らかさと甘さが生まれ、古くから市民に親しまれてきた郡山の伝統野菜です。阿久津地区の風土に合うよう代々選抜された「阿久津曲がりねぎ」の種子や、特徴的な栽培行程である「やとい」を後世まで引き継いでいきたいという地元の熱意から、全国の風土や伝統が育んだ特色ある農産物等の地域ブランドを知的財産として保護する「地理的表示(GI)保護制度」に「阿久津曲がりねぎ」が令和4(2022)年に登録されました。福島県では「南郷トマト」に次いで2品目、全国では113品目になります。



2024(令和6)年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま